JA自己改革二工mews大

2024.10.3

自己改革 JAグループ編

特別号

第30回JA全国大会を開催

「組合員・地域とともに食と農を支える協同の力 ~協同活動と総合事業の好循環~」をめざして



JAグループは、2024年10月18日に第30回JA全国大会を開催し、「協同活動と総合事業で食と農を支え、豊かなくらしと活力ある地域社会を実現する」ことをJAグループの存在意義とし、2025年度からの3カ年で「組合員・地域とともに食と農を支える協同の力~協同活動と総合事業の好循環~」をめざすことを共通の意志として大会議案を決議することとしています。

2021年に開催した第29回JA全国大会以降、世界では国際情勢の緊迫化により様々なリスクが顕在化する一方、国連は持続可能な社会の実現に向けた協同組合の貢献を評価し、2025年を二度目の国際協同組合年(IYC2025)*に定めることを宣言しました。国内では、高齢化・人口減少に伴い基幹的農業従事者の減少、人材確保が課題となる一方、四半世紀ぶりとなる食料・農

業・農村基本法の改正など、日本の農業・農村・JAを とりまく状況は大きく変化しています。

これら食料・農業・農村の課題や社会情勢の変化をふまえ、今回のJA全国大会では、「食料・農業戦略」「くらし・地域活性化戦略」「組織基盤強化戦略」「経営基盤強化戦略」「広報戦略」の5つの戦略を策定し、今後3カ年かけて、JAグループの存在意義の発揮に向けて、各戦略の実践をはかっていくこととしています。今秋以降は、都道府県においても、大会が開催される予定であり、次年度以降の中期経営計画等に反映されていきます。

※2023年に国連は2025年を国際協同組合年 (IYC2025) とすることを宣言。 「協同組合はよりよい世界を築きます」をテーマとし、全ての国連加盟国、国 連諸機関、関係者に対して、IYC2025を活用して、社会・経済の発展への協 同組合の貢献を促進するようによびかけています。



国産農畜産物の魅力を再発見!

(国消国産 知って味わう 秋の収穫祭&JA全青協マルシェ 70周年感謝祭 ~70年のありがとう、そしてみらいへ~)

日時 2024年10月19日(土) 11時~

場 所 「KITTE丸の内1F アトリウム・テラス」(東京都千代田区)

国産農畜産物の魅力や農業の実態を知っていただき、JAグループが提唱する「国消国産」を実践していただくため、JAグループサポーターの林修先生が出演するトークショーなど子育て層や若年層も楽しめる無料コンテンツや、全国各地の若手農業者が持ち寄った魅力溢れる農産物・加工品の販売を実施します。



コラム JA全国大会とは

JA全国大会は、組合意識の昂揚、 全国のJAの共通の意志の決定および内外への表明を目的として、概ね 3年に一度開催しています。1952年 に第1回大会を開催し、今回で30回 目を迎えます。

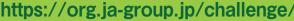


第1回全国農業協同組合大会



第29回JA全国大会

JAグループのホームページから、自己改革の成果をまとめた動画や全国のJAの取り組みがご覧になれます。









耕そう、大地と地域のみらい。

発行/JA全中(一般社団法人 全国農業協同組合中央会)